

2016年度事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人 鎌倉てらこや

1 事業活動方針

任意団体としての活動を引き継ぎ、全国の範となるよう、地域教育を推進させる。

2 事業内容

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 自然体験活動に関する事業

ア 海事業（事業名称：「海 L♡VE かまくら」）

- ・内 容 海という鎌倉ならではの自然環境を存分に生かした、様々な体験を実施する。Save Our Shore（神奈川県海水浴場組合連合会）に協力を貰いながら事業を展開する。
- ・日 時 ①6月4日、②10月15日
- ・場 所 材木座海岸
- ・従事者人員 55人（学生・大人合計）
- ・対 象 者 小学校1年～中学校3年生とその保護者 39人
- ・予 算 122,910円

イ 鎌倉めぐり事業（事業名称：「鎌倉めぐり」）

- ・内 容 鎌倉博士・大貫昭彦先生と鎌倉の自然・史跡を歩きめぐることによって、今まで気づくことのできなかつた新たな鎌倉を発見する。子ども・大学生・保護者の3つの世代がともに歩くことにより、新たな関係性の構築を目指す。
- ・日 時 ①6月19日 ②9月18日 ③12月10日 ④3月5日（全4回）
- ・場 所 鎌倉市内
- ・従事者人員 59人（学生・大人合計）
- ・対 象 者 小学校1年～中学校3年生とその保護者
子ども35人 大人12人 合計47人
- ・支 出 208,992円

② 芸術創作活動に関する事業

ア 陶芸教室事業（事業名称：「土と遊ぼう」）

- ・内 容 講師の河村喜史先生のもと、子ども・親・学生の三世代がともに作陶にはげむ。3回を通して一事業とする。最初の2時間が陶芸、残りの1時間は、子どもは学生と遊び、保護者は懇親会を行う。陶芸を通じて、1回目で「できた」、2回目で「つかんだ」、3回目で「やりぬいた」というような感動体験を得てもらえる場を作る。
- ・日 時 43期：①5月8日 ②7月10日
44期：①9月11日 ②10月9日 ③11月13日
45期：①12月11日 ②2月12日（全7回）
- ・場 所 講師の河村喜史先生宅（鎌倉市山崎）
- ・従事者人員 51人（学生・大人スタッフ合計）
- ・対 象 者 小学校1年生～中学校3年生および保護者
子ども：66人 大人：48人 合計：114人

・支 出 384,032 円

イ 朗読教室事業（事業名称：「みんなで朗読」）

- ・内 容 良い文章を耳で聞き、声を出して読む事を通して、朗読の楽しさを体感する。また、日本語の美しさに対する感性や想像力、読解力を培う。朗読で扱った文学作品の解説を聞き、名作のもつ世界観を味わう。
- ・日 時 ①5月29日 ②6月26日 ③7月31日 ④9月25日 ⑤10月30日
⑥11月27日 ⑦12月18日 ⑧1月29日 ⑨2月26日（全9回）
10周年記念朗読会 5月8日
- ・場 所 円覚寺塔頭、浄智寺、鎌倉中央公園、信徒会館
- ・従事者人員 145人（学生・大人スタッフ合計）
- ・対 象 者 小学校1年生～中学校3年生および保護者
子ども：151人 大人：176人 合計327人
- ・支 出 915,302 円

② 広報啓発に関する事業

ア 建長寺合宿事業

- ・内 容 建長寺で大学生とお寺の生活を共にする三泊四日の合宿。心の底から楽しみながら、子どもと学生が本気になって遊び・学ぶことから、「当たり前のこと」を一所懸命、本気でやる大切さとその喜びを体感する。
- ・日 時 8月6日～9日
- ・場 所 臨濟宗 大本山 建長寺
- ・従事者人員 132人（学生：103人・OBOG：27名・大人スタッフ：2人）
- ・対 象 者 小学校2年生～中学校3年生および保護者
子ども：101人 大人：90人 合計：191人
- ・支 出 2,281,754 円

イ 妙本寺合宿事業

- ・内 容 妙本寺で大学生と一緒に、お寺の生活を行う一泊二日合宿。学童保育施設に遊びに来ている子どもたちを主な対象として、お寺ならではの生活体験とともに、子どもと学生が本気になって遊び・学ぶことで、日常の生活では体験できない、心の底からの楽しみを経験する。
- ・日 時 8月25日～26日
- ・場 所 日蓮宗 比企谷 霊跡本山 妙本寺
- ・従事者人員 69人（学生：62人・大人：9人）
- ・対 象 者 小学校1年生～中学校3年生
子ども：38人 大人：22人 合計：60人
- ・支 出 600,688 円

ウ 光明寺合宿事業

- ・内 容 光明寺で大学生と一緒に、お寺の生活を行う一泊二日合宿。お寺ならではの生活体験とともに、海に近いというロケーションを活用して、子どもと学生が本気になって遊び・学ぶことで、心の底からの楽しみを経験する。そうした経験から、当たり前のこと一所懸命やる大切さとその喜びを体感する。
- ・日 時 12月3日～4日

- ・場 所 浄土宗 大本山 光明寺
- ・従事者人員 73人 (学生：66人・大人：7人)
- ・対 象 者 小学校1年生～中学校3年生
子ども：51人 大人：20人 合計：71人
- ・支 出 1,163,980円

エ 子どもの居場所づくり事業 (事業名称：「休日てらハウス」「平日てらハウス」)

- ・内 容 子ども・学生・保護者がてらハウスに集まり、“本気”で遊び、話し合い、学びあう。そうして過ごす時間から、子ども自身が「やりたい！」と思うことを発見し、学生・保護者の力添えを得ながら、やりたいことを自らの力で実現できるようになることを目指す。
2012年度からは、平日の「てらハウス」の開放も開始している。
- ・日 時 2016年4月～2017年3月
①休日てらハウス：原則毎週土曜日 10：00～16：00 (全49回)
②平日てらハウス：原則月～金曜日 15：00～17：00 (全211回)
- ・場 所 鎌倉市大船1-25-18 千里ビル3F
- ・従事者人員 ①440人 (学生：388人・大人スタッフ：52人)
②1,650人 (学生：1363人・大人スタッフ：287人)
- ・対 象 者 小学1年～中学3年生、高校生
① 子ども：575人 大人8人 ②子ども：1,331人
- ・支 出 ①928,113円 ②1,789,694円

オ 広報活動・報告書作成事業 (事業名称：「鎌倉てらこや広報活動」「遊ビバ!」)

- ・内 容 「鎌倉てらこや」の実際の活動及び理念を多くの人々に理解してもらうために、「鎌倉朝日」に記事を連載、「鎌倉てらこや通信 (タブロイド)」の発行、「鎌倉てらこや」HP・Facebook 運営、報告会開催等を実施。多くの人々にてらこや活動へと参加してもらう足がかりを作る。寄付者・支援者を対象とした「てらこや感謝祭」(活動報告会)の実施や、銀の鈴社と連携して「てらこやLIVE」(活動写真報告会)も実施。また本年度は特別にてらこやの魅力を伝えるてらこや絵本を作成。また、絵本製作に関するワークショップも開催。
- ・日 時 「鎌倉朝日」 月1回 (毎月1日発行)
HP・Facebook 運営 常時
鎌倉てらこやHPリニューアル
鎌倉てらこや活動報告ブログ「てらのすけが行く」運営
「てらこや感謝祭」(活動報告会) 2月21日
「てらこやLIVE」(活動写真報告会) 3月26日～29日
- ・場 所 鎌倉市内各所・銀の鈴社ギャラリー・鎌倉大仏殿高德院 他
- ・従事者人員 127人 (大学生：107人、大人20人)
- ・対 象 者 参加登録者・発起人・関係団体の方 およそ2,500人
- ・支 出 3,023,870円

カ 他団体協働事業 (事業名称：「都会と田舎を結ぶ食育ネット」)

- ・内 容 学校、家庭、地域の連携のなかで子どもたちを育てる、という理念の実現に向けて、学校との連携(融合)を進めてゆく。つながりのある「食育ネット」と共同で事業を行い、鎌倉附属小学校との連携を深め

ていく。2016年度は、鎌倉の朝市体験、郷土料理作り、建長寺での食育合宿など、「料理の根っこ」をテーマに活動を実施。

- ・日 時 ①5月22日 ②7月24日 ③9月4日 ④1月9日 ⑤2月19日
⑥3月18～19日 (全6回)
- ・場 所 建長寺、附属鎌倉小学校、猿山表他
- ・従事者人員 151人(大学生:141人、大人10人)
- ・対象者 小学校1年生～中学校3年生及び保護者
子ども:163人 大人:22人 合計185人
- ・支 出 100,000円

キ ネットワーク事業(事業名称:「てらこやネットワーク」)

し、地域ごとに参加者やスタッフ(学生・大人スタッフ・子ども)の交流を図り、各地域の特色を活かし、事業の相乗効果をねらう。

- ・活動内容 ・宮島てらこや春合宿
 - ・小田原事業
 - ・花巻てらこや夏合宿
 - ・豊田てらこや夏合宿
 - ・小豆島てらこや夏合宿
 - ・会津てらこや合宿
 - ・宮島てらこや秋合宿
 - ・てらこやちば逃走
 - ・市川 なし事業
 - ・大阪てらネットリーダーズ合宿
 - ・軽井沢関東てらこやリーダーズ研修他
- ・場 所 全国各他
- ・従事者人員 40人(学生30人・大人10人)
- ・対象者 てらこやネットワーク参加のJ C・地域の協力者の方々
- ・支 出 68,290円

ク 人材育成事業

- ・内 容
 1. 新規大学生ボランティアの獲得のための新歓事業
 2. 学生理事の研修とチームビルディング事業
 3. 事業運営を担う学生の育成事業
 4. コアスタッフ間(大人・事務局・学生)の目的・目標の共有事業
子ども&新入大学生のオリエンテーションとなる「てらこや遊ビバ!」事業も実施。
- ・日 時
 - ・4～5月:新歓イベント(ピラまき、飲み会、オリエン)の実施
 - ・5月8日リーダー研修会@浄智寺
 - ・毎月1回:「てらこや遊ビバ!」事業
 - ・8月28日:夏の大打ち上げ
 - ・6月・10月:てらこやフェスティバル(各事業の紹介)
- ・場 所 横浜国立大学、鎌倉女子大学、明治学院大学、鎌倉生涯学習センター 他
- ・従事者人員 212人(学生:200人・大人:12人)
- ・対象者 オリエンテーション:小学校1年生～中学校3年生 子ども:200人
大学生スタッフ約200名

- ・支 出 408,207 円
- ケ 渉外事業
- ・内 容 1. 鎌倉を拠点とする地元企業へと協力を呼びかける発信事業
2. 行政連携を中心とした拡大事業
3. 地域の諸団体との連携事業
 - ・日 時
 - ・鎌倉こどもハチミツプロジェクトとの協働（月に一回程度）
 - ・鎌倉ひまわりの会・復興支援チャリティコンサートの協働（6/11）
 - ・鎌倉青少年会館フェスティバルへの参加（7月）
 - ・大船 to 大船渡への参加（9月）
 - ・大船まつり・大船仮装パレード&のど自慢大会への参加（5月）
 - ・山ノ内町内会宵宮祭（7月）等各種お祭りへの参加
 - ・鎌倉高校生ボランティアの受け入れ（夏休み）
 - ・建長寺さんのお掃除のお手伝い
 - ・てらこやゼミの実施 他
 - ・場 所 鎌倉市内各所
 - ・従事者人員 132人（学生：117人・大人：15人）
 - ・対 象 者 鎌倉市内企業、鎌倉市内諸団体等
 - ・支 出 179,067 円
- コ 復興支援事業
- ・内 容
 - ・避難所における子どもたちの遊びと学びのケア（会津てらこや）
 - ・被災遺児孤児を支援する「夢のつばさプロジェクト」への協力
以上を「全国てらこやネットワーク」と連携して実施
 - ・震災復興支援バザー
 - ・震災復興支援チャリティコンサート
 - ・日 時 会津てらこや（月に1～2回ずつ開催、年間14回）他
 - ・場 所 福島県会津若松市、鎌倉市内
 - ・従事者人数 30名（学生25名、大人5名）
 - ・対 象 者 福島県会津若松市内に在住している子ども：140人
 - ・支 出 500,000 円（東日本大震災復興支援事業より支出）
- ケ 出向事業
- ・内 容 鎌倉市の学童保育施設6か所（大船子ども会館・山崎子ども会館・富士塚子どもの家・梶原遊び基地・関谷子どもの家・岩瀬子ども会館）へ大学生を派遣している。「てらこや」本体の事業から飛び出して、地域の中にも子どもたちや保護者と大学生という3世代が関わることによって生まれる「よき人との出会い」及び「感動体験」が育まれていく環境を作る。
また、子ども会館だけでなく、今泉小学校で実施されている「今小わくわくクラブ」、稲村ガ崎小学校の「稲小らんらんスクール」にもボランティア参加。
 - ・日 時 2016年4月～2017年3月毎週月・月・火・水・金曜日・隔週土曜日（全270回）
 - ・場 所 大船子ども会館・山崎子ども会館・富士塚子ども会館・梶原遊び基地・関谷子どもの家・岩瀬子ども会館・玉縄子ども会館今泉小学校・稲村

- ガ崎小学校
- ・ 従事者人員 大学生スタッフ：1,036人
 - ・ 対 象 者 各学童施設、大船（120人）・山崎（80人）・富士塚（20人）・梶原（10人）・関谷（40人）・岩瀬（50人）・玉縄（50人）
 - ・ 今泉わくわくクラブに通う小学生（60名）
 - ・ 稲小らんらんスクールに通うに通う小学生（20人）
 - ・ 支 出 1,675,679円